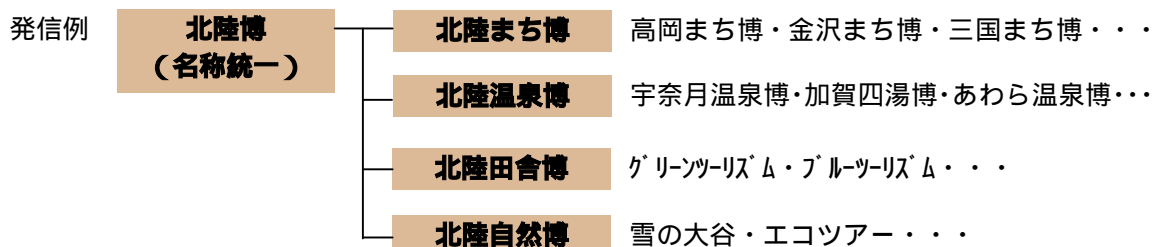


(2) 具体的方策(仕掛け)の概要

仕掛4 365日魅力的な着地プログラムの提供

- ・各地域・各まちの着地プログラム〔着地型観光、グリーンツーリズム、エコツーリズム等〕の情報を「北陸」でまとめて発信し、365日楽しめる北陸をPRする。
- ・北陸を訪れた旅行者に、着地プログラムを体験してもらうことにより、地域の人と触れ合う機会を増やし、地域の人を訪れた人に対して魅力を伝えることで満足度を高める。(人に感動し、リピーターになってもらう)
- ・北陸全体で取組みをまとめることにより、いつ行っても楽しめる地域であることをPRするとともに、北陸圏内の各地域の取組みを誘発し、着地プログラムの充実化を図る。



関連 「仕掛1 北陸観光ポータルサイト」のメインコンテンツの一つとして、プログラム内容、ボランティアガイドの紹介、お客さんの感想などを発信、予約なども可能にする。

関連 「仕掛5 北陸ツーリズム研究会」において、満足度の向上、取組みの推進を図る。

関連 「仕掛7 観光案内の連携・機能強化」において、旅行者に紹介できる仕組みをつくる。

【名称統一によるPRイメージ】

北陸まち博

かなざわ・まち博



三国まち博



北陸温泉博

加賀四湯博



あわら温泉博



北陸田舎博

五箇山農業博



越前口ハス博



北陸自然博

立山エコ博



三方五湖エコ博



【九州観光推進機構の事例 九州さるく】

- ・ ボランティアガイドと歩く！新・九州観光として各地の着地プログラムを集めてホームページやパンフレットで発信している。
- ・ “さるく”は、観光ボランティアガイドによる着地型観光で成功した“長崎さるく”の言葉を使い、分かりやすい発信となっている。
- ・ 予約不要なコース〔定時ツアー〕も多く、ぶらりと参加し、地域の人と触れあい、いろいろなことを学習できる魅力がある。

福岡エリア

福1 小倉城下町周遊コース 北九州市

九州北端の城下町は長崎街道の起点であり、江戸、明治時代に残る碑、建築物をガイドします。

- 開催日 10/4～12/27の毎週土曜日(1月以降も3/31までの毎週土曜日開催)
- 時間 10:00～12:00
- 集合場所 JR小倉駅3階総合観光案内所前
- 参加費 500円
- コース 祇園太鼓像→森鷗外旧居跡→八坂神社→小倉城→小倉城庭園→旦過市場
- お申込み先・お申込み方法
北九州市観光情報コーナー(TEL:093-541-4189)
前日までに電話にて(受付時間:9:00～18:00)
- ホームページ <http://www.kcta.or.jp>
- その他 門司港では、「門司港満喫コース」をご案内



福2 博多町家ふるさと館周辺の寺社めぐり 福岡市

博多町家ふるさと館周辺のご案内を定時ツアー形式で行っております。ぜひご参加下さい。

- 開催日 10/1～12/28の毎日 (ただし、10/23～26、11/1～3、14～16を除く)
- 時間 14:00～15:00
- 集合場所 博多町家ふるさと館前
- 参加費 無料
- コース 櫛田神社→東長寺→承天寺など
- お申込み先・お申込み方法
福岡市観光案内ボランティア事務所
(TEL:092-283-2111)
予約不要、直接現地へお越し下さい
- ホームページ <http://fukuoka-city-guide.com/>
- その他 一昨年、昨年に続き、今年も10/11～11/16の期間限定で「博多情緒めぐり」を開催します。「文化の発祥寺社めぐり」など9コースをご用意しております。詳しくはホームページ <http://www.hakata-meguri.city.fukuoka.lg.jp/> をご覧いただくか、福岡まちめぐり協議会 (TEL:090-3416-3750) までお問い合わせ下さい。



福3 水郷柳川「まち歩き」定時ツアー 柳川市

平家ゆかりの沖端舟溜りは「水の構図」の最終章。この地で月の引力を感じ、北原白秋生家、旧戸島邸、御花などを訪ねます。

- 開催日 10/4～12/28の毎週土、日(1月以降も同様の内容で開催)
- 時間 10:45～12:15 13:30～15:00
- 集合場所 柳川市観光案内所(柳川市沖端町35)
- 参加費 大人1,500円、中学生以下1,000円(施設入園料を含む)
- コース 矢留大神宮→北原白秋生家→舟溜り→旧戸島邸→御花・松涛園
- お申込み先・お申込み方法
柳川市観光案内所(TEL:0944-73-2145)
当日までに電話にて(受付時間:9:00～17:00)
- ホームページ <http://www.yanagawa-net.com/>
- その他 このコースは通年実施となります。



福4 歩かね太宰府 気持ちよかやん、風も人も 太宰府市

今までとはほんの少し違う「太宰府」を感じてください。「天満宮と光明禅寺」「ゆったりアート」「秋の水城跡」「万葉集って？」など16コースを準備してお待ちしています。

- 開催日 10/4～12/7の毎週土曜日(10/11を除く)は、全31日開催
出発時間、集合場所、参加費はコース・日によって異なりますので、

佐賀エリア

佐1 幕末・維新期の佐賀を体感 佐賀市

本丸御殿の復元としては日本初、木造復元建物としては日本最大級の規模を誇る歴史博物館。館内では幕末・維新期の佐賀の歴史をご案内。

- 開催日 10/1～12/28の毎日
- 時間 10:00～11:00 14:00～15:00
- 集合場所 佐賀城本丸歴史館内、御式台
- 参加費 無料(満足度に応じた募金をお願いします)
- コース 本丸御殿の復元過程、幕末・維新期の佐賀の歴史、近代科学技術、佐賀輩出の偉人などを紹介
- お申込み先・お申込み方法
佐賀城本丸歴史館(TEL:0952-41-7550) 事前申し込み不要、現地集合
- ホームページ <http://sagajou.jp/>
- その他 上記以外の時間にも解説を行っています。



佐2 唐津ん町の石垣浪漫と旧高取邸 唐津市

唐津城下の石垣、武士が通った道、度々で栄華を極めた高取氏の旧宅…。時代の流れを感じられる空間を巡ります。

- 開催日 10/1～12/8の月曜日を除く毎日
- 時間 10:00～12:00 13:30～15:30(他の時間は要相談)
- 集合場所 唐津城石段下の電話ボックス横
- 参加費 700円(入館料別途必要)、小学生以下は入館料のみ
- コース 唐津城→石垣の散歩道→唐津藩武家屋敷の門→旧高取邸→時の太鼓
- お申込み先・お申込み方法
唐津よかばい 旅倶楽部(TEL:0955-74-3611、FAX:0955-74-3612)
メール: yokabai@karatsu-kankou.jp
3日前までに電話、FAX、メールにて(受付時間:9:00～18:00)
- ホームページ <http://www.yokabai-tabiclub.jp/>
- その他 上記をはじめ全7コースがあります。詳しくはHPまたはお電話にて



佐3 秘窯の里・大川内山コース 伊万里市

江戸時代に將軍家へ献上品を贈り続けてきた錦島落窯の伝統を継承して30数軒の窯元が軒を並べる秘窯の里。

- 開催日 10/4～12/14の毎週土・日(1月以降も1/17～3/29の毎週土・日開催)
- 時間 10:00～11:00 11:00～12:00 14:00～15:00 15:00～16:00
- 集合場所 伊万里有田焼伝統産業会館前(駐車場側)
- 参加費 200円
- コース 関所→めおとの塔→唐臼小屋→窯元→藩役宅・細工屋敷跡→登り窯
- お申込み先・お申込み方法
陶器商家資料館(FAX0955-22-7934)
または観光協会(FAX0955-23-3553)
3日前までにFAXにて(受付時間:10:00～17:00)
- ホームページ <http://www.hachigamenet.net.jp/ti-kankou/>
- その他 別途申し込みいただければ、伊万里市街地、古伊万里コースをご案内します。



佐4 江戸～昭和のまちなみをさるく旅 鹿島市

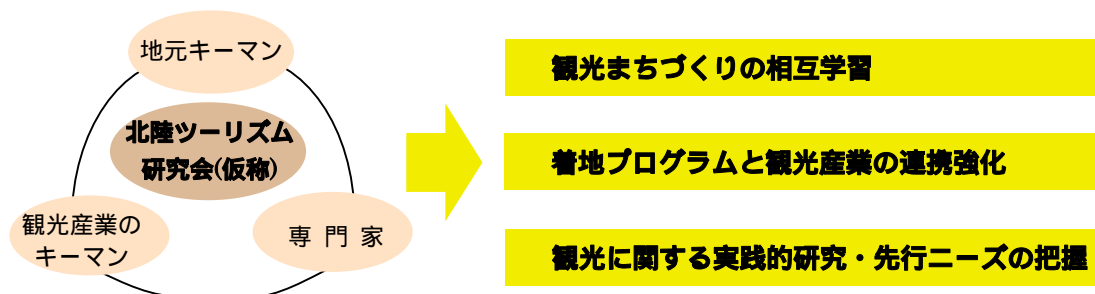
浜野独自の歴史と生活文化を、旧武家屋敷から酒蔵、日本最大の茅葺き集落をさるく体感していただきます。

- 開催日 10/4～12/21の毎週土・日
- 時間 10:00～11:30 14:00～15:30
- 集合場所 肥前浜宿「継場」
- 参加費 200円
- コース 赤鳥居跡→旧乗田家住宅→継場→呉竹酒造→酒蔵→茅葺き集落
- お申込み先・お申込み方法
継場(TEL:0954-69-8004)
前日までに電話にて(受付時間:10:00～17:00、火曜休)



仕掛5 北陸観光まちづくりの推進

- ・観光まちづくりを実践する地域のキーマンと、観光産業のキーマン、専門家がネットワークをつくり、新たな観光スタイルを推進する北陸ツーリズム研究会（仮称）を開催する。
- ・研究会では、観光まちづくりの相互学習を通じ、着地プログラムと観光産業の連携強化、観光に関する実践的研究や先行的なニーズの把握等を行い、北陸の観光まちづくりを推進する。



観光まちづくりの相互学習

- ・ワーキングでは七尾、城端、三国の観光まちづくり視察を行い、各委員から参考になったという声が多く寄せられとともに、各地での次の取組みを誘発する機会にもなった。
- ・北陸各地の事例や、全国の成功事例を相互学習し、各地域・各まちにおける地域資源の活用方法に対し継続的な学習を重ねることにより、各地の取組みを推進する。
- ・また、今後取組みを始める地域のキーマンにも参加を促すことにより、人材の育成を図る。

着地プログラムと観光産業の連携強化

- ・既に大手旅行エージェン트가、着地型観光のプログラムを組み込む旅行商品開発や、全国の着地型観光を予約・販売する窓口・サイトの開設などを行っている。北陸において観光産業と着地型プログラムが上手に連携し旅行者の満足度を高めていくためには、まずは双方のキーマンが顔見知りになり、意見交換、情報交換をすることから始める必要がある。
- ・地域における人的ネットワークを基に、様々な連携、滞在プログラムなどの創出を進める。

観光に関する実践的研究・先行ニーズの把握

- ・相互学習は単に情報を仕入れるだけの場ではなく、北陸における観光のあり方の検討や、各地の具体的な事業の検討を行うことができる実践的な場を目指す。
- ・また長期滞在や、二地域居住など先行的なニーズに対する実験的な事業（パイロット事業）を実施し、新しい観光ニーズへの対応についても研究を進める。